

博物館は常に変化します 何度もおいでください!

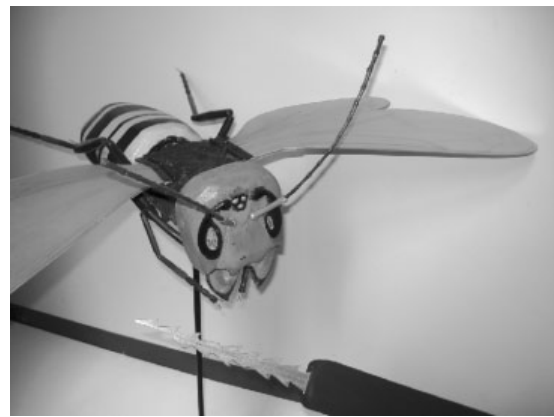
これからの企画展

【あぶない!かな? みぢかなハチ】

9月23日~11月20日

ハチは世界中に少なくとも12万種類以上いる、非常に多様な生きものです。人を襲うような怖いハチはごくわずかで、ひっそりと孤独に子育てをしたり、社会を作って大勢で子育てをしたりと、それぞれの種類が興味深い生活をしています。

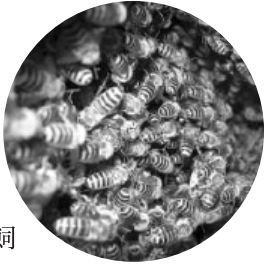
ハチのからだをじっくり見たことがありますか? 腹のくびれや花粉を集めるための毛など、興味深い構造がたくさんです。また、ハチの針は、注射器のような管ではありません。ノコ



ギリのような構造で、切り込んでいくように刺します。スズメバチなどのカリバチは、幼虫に与えるため、大きなアゴで他の昆虫を肉団子にして巣まで運びます。怖い!と思われがちですが、かわいい素顔も持っています。10月の楽しい実験では「スズメバチにさわろう」を行います。標本になったスズメバチを、じっくりと観察してみてください。

ミツバチは条件さえ整えば巣箱を設置して簡単に育てることができます。博物館では6月からニホンミツバチを飼育しています。これも展示する予定です。うまくいけば、展示会場でハチミツをごちそうできるかもしれません!

ハチの世界を十分ご堪能ください。



【ほんじつ、かいてん! 貝のせかい】

12月10日~1月22日

いらっしゃい、貝のせかいへ。一口に貝とい

っても、色や形、大きさもさまざまです。巻き貝、二枚貝ばかりでなく、なんとタコやイカ、



ウミウシも貝 アートプロジェクト進行中の仲間です。これまで本館が収集したり、寄贈された標本を展示し、その生態や形態を紹介します。また、高校生によるアートプロジェクトなど関連行事も盛りだくさん。ご期待ください!!

【かごしまの針葉樹】

2月11日~4月8日

針葉樹は、寒いところの植物というイメージがありますが、温暖な鹿児島にもマツやスギ、モミ、固有種のヤクタネゴヨウなどいろいろな針葉樹があります。鹿児島に見られる針葉樹の種類や形、生活のしかたや人との関わりについて、標本や写真、パネル等を使って紹介します。



ヤクスギ

8月までの企画展

【ラムサール条約湿地 蘭牟田池の自然】

4月23日~6月19日

【かごしま 川の生きもの】

7月9日~8月31日

8月末までに二つの企画展が終わりました。池や川について、地質、植物、動物、昆虫の四つの視点から自然のすばらしさや巧みさを紹介しました。今後も継続して蘭牟田池や県内の河川を調査し、鹿児島島の身近な自然を紹介する予定です。

今年も大人気! 第3回博物館まつり

以前当館に「いったい博物館ってどんなところ?」と寄せられたご意見。この疑問にお答えするため、博物館まつりは誕生しました。一年分の科学教室、楽しい実験などを一日に集約して、おもいきり楽しんでいただこうという思いで開催しています。このまつりは今年で3回目となり、約7,500人の参加者がありました。

当日5月22日(日曜日)午前10時、天候は快晴。メイン会場の鹿児島中央公園では、移動博物館で大人気の液体窒素を使った実験「とほうもなく冷たい世界」を皮切りに、博物館まつりが始まり



液体窒素の実験

場では、チョウやザリガニなどに触れ合えるコーナーを設置したり、竹笛を作る楽しい実験を実施したりしました。

宝山ホール4階の別館では、初の試みとして、プラネタリウム投映を無料とし、通常の番組ばかりではなく、特別番組の投映も行いました。一方本館では、まつり名物で、かねては非公開の収蔵庫などを



バックヤードツアー

ご案内する科学教室「博物館バックヤードツアー」を実施しました。すべての会場をあわせると18の科学教室や楽しい実験などを体験していただきました。まさに博物館三昧の一日を体験していただけたのではないかと思います。

午後4時にまつりは終了し、後片付けや清掃を行いました。この後始末のみならず、事前の準備や設営、運営など総勢約200人のボランティアの皆様



ボランティア大活躍

協力していただきました。この場を借りて厚く感謝申し上げます。

博物館教養講座 楽しい自然観察入門in霧島

2011年1月26日の新燃岳噴火の影響で、実施を予定していた霧島の韓国岳や大浪池は入山禁止になりました。教養講座の実施場所について博物館としても検討しましたが、霧島山系の甑岳にて自然観察を実施することができました。



甑岳山頂

甑岳山頂は火口部が湿原となっており、他では見られないような風景が広がっていました。池周辺には、ホシクサの仲間やモウセンゴケなどが生えていました。水の中にはハイイロゲンゴロウやミズカマキリがおり、飛来したと想像しましたが、イモリがいたことにはみんな首をひねっていました。宿泊はテント泊となり、灯火採集などで有意義にすごしました。翌日は高千穂小学校の理科室で、植物および昆虫の標本作成と、太陽黒点の観察などを行いました。



太陽黒点の観察

今後も幅広い方々に参加していただけるよう、内容もさらに充実させていこうと考えています。